第 130 回

令和7年10月～12月期

中空知管内景況レポート

令和8年1月発刊

特別調査「2026年（令和8年）の経営見通し」

ふれあいを大切にする

北 門 信 用 金 庫

第130回　北　門　しんきん
中空知管内中小企業景気動向調査

北門信金では、中空知管内の中小企業の景気動向を把握するため、滝川・砂川・芦別・赤平・歌志内・奈井江・上砂川・浦臼・新十津川の各市町に所在する企業のご協力をいただき、地域企業景気動向調査を実施しております。

この調査は、毎年四半期ごとに実施しておりますが、今回は令和7年10月～12月期の業況実績と令和8年1月～3月期の業況見通しについて調査した結果をとりまとめたものです。

なお、今回は特別調査「2026年（令和8年）の経営見通し」を実施しております。

令和8年1月

北門信用金庫　企画部(広報)
滝川市栄町3丁目3番4号
TEL　(0125)22-1185(直通)

調査要領

1. 調査時点　　令和7年12月
2. 調査対象期間　　令和7年10月 ～ 12月実績
   令和8年 1月 ～　3月見通し
3. 調査企業　　当金庫のお取引先企業

製造業	18 社	建設業	38 社
卸売業	7 社	運輸業	9 社
小売業	26 社	不動産業	3 社
サービス業	16 社	計	117 社

4. 調査方法　　当金庫職員による面接聞き取り法
5. 分析方法　　DI判断指数を中心に分析

DI＝Diffusion Index

DI判断指数

各質問項目で「増加」(上昇)したとする企業数の全体に占める構成比と「減少」(下降)したとする企業数の構成比との差

※「%」表示は、小数第二位を四捨五入しております。

中空知の景気動向（令和7年10～12月期）

調査企業　117社
回答企業　115社
回答率　98.3%

業況は改善、1～3月期は低下を予想

今期の実績（令和7年10～12月期）

業況判断DIは▲4となり前期比13ポイント改善、前年同期比は9ポイント改善しました。
売上額判断DIは10となり前期比2ポイント低下、収益判断DIが6となり前期比3ポイント改善しました。
また、販売価格判断DIは19となり前期比3ポイント下降、仕入価格判断DIが47となり前期比2ポイント下降となりました。
業種別では、6業種が改善、不動産業が横這いとなりました。

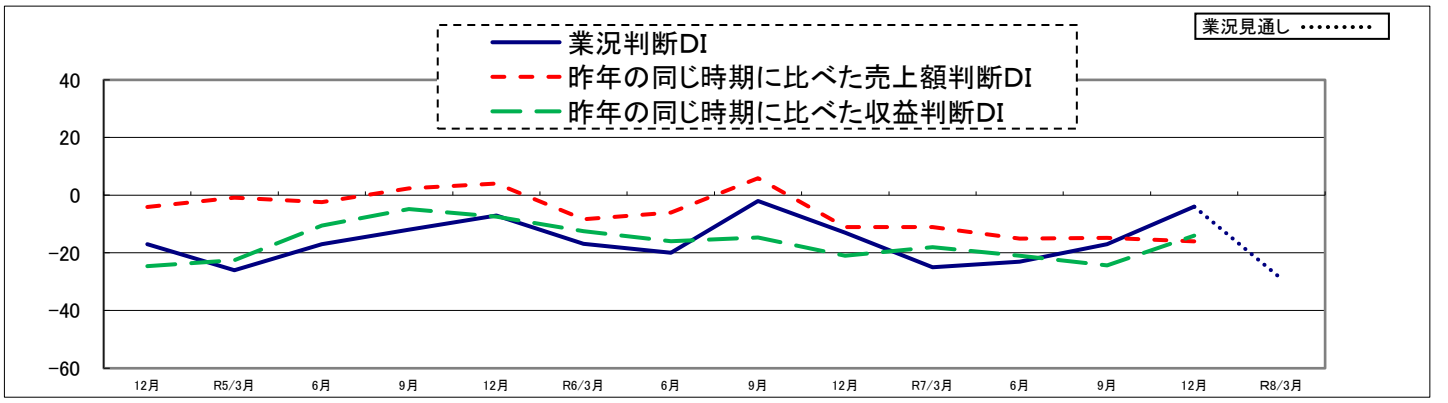
来期の見通し（令和8年1～3月期）

業況判断の見通しDIは▲29となり今期実績比25ポイント低下する見通しです。
売上額判断見通しDIは▲26となり今期実績比36ポイント低下、収益判断見通しDIが▲27となり今期実績比33ポイント低下する予想です。
また、販売価格判断見通しDIは5となり今期実績比14ポイント下降、仕入価格判断見通しDIが32となり今期実績比15ポイント下降する予想です。
業種別では、小売業・サービス業・不動産業は横這い、製造業・卸売業・建設業・運輸業が低下する見込みです。

DI値

	R6/10～12月 前年同期	R7/1～3月	R7/4～6月	R7/7～9月 前期実績	R7/10～12月 今期実績	前期比	前年同期比	R8/1～3月 来期見通し	今期比
業　況	▲ 13	▲ 25	▲ 23	▲ 17	▲ 4	13	9	▲ 29	▲ 25
売上額	3	▲ 26	▲ 9	12	10	▲ 2	7	▲ 26	▲ 36
収　益	▲ 5	▲ 29	▲ 14	3	6	3	11	▲ 27	▲ 33
販売価格	22	22	25	22	19	▲ 3	▲ 3	5	▲ 14
仕入価格	47	61	48	49	47	▲ 2	0	32	▲ 15
在　庫	0	9	▲ 2	1	2	1	2	1	▲ 1
資金繰り	▲ 8	▲ 5	▲ 8	▲ 5	▲ 10	▲ 5	▲ 2	▲ 10	0
残業時間	▲ 8	▲ 14	▲ 12	▲ 6	▲ 3	3	5	▲ 13	▲ 10
人　手	▲ 50	▲ 37	▲ 43	▲ 48	▲ 49	▲ 1	1	▲ 39	10
現在設備	▲ 10	▲ 10	▲ 12	▲ 12	▲ 14	▲ 2	▲ 4	▲ 8	6

業況判断DI、昨年の同じ時期に比べた売上額判断DI、昨年の同じ時期に比べた収益判断DIの推移



設備投資動向　※複数回答（不動産業除く）

設備投資実績内訳（7年10～12月）	
事業用土地・建物	0 件
機械設備の新・増設	11 件
機械・設備の更改	13 件
事務機器	9 件
車両	13 件
その他	6 件

設備投資計画内訳（8年1～3月）	
事業用土地・建物	0 件
機械設備の新・増設	6 件
機械・設備の更改	7 件
事務機器	8 件
車両	6 件
その他	3 件

今期（7年10～12月）は、36社（32.1%）が設備投資を実施しており前年同期を7社上回りました。
来期（8年1～3月）に設備投資を計画している企業は22社（19.6%）となっています。

経営上の問題点と当面の重点経営施策（上位3位）　※複数回答

経営上の問題点		
1位	人手不足	49 社
2位	売上の停滞・減少	42 社
3位	原材料高・材料価格の上昇	36 社

当面の重点経営施策		
1位	経費を節減する	65 社
2位	人材を確保する	62 社
3位	販路を広げる	26 社

製 造 業 （令和7年10～12月期）

調査企業　18社
回答企業　18社
回答率　100%

業況は改善、1～3月期は低下を予想

今期の実績（令和7年10～12月期）

業況判断DIは▲6となり前期比22ポイント改善、前年同期比27ポイント改善しました。
売上額判断DIは▲6となり前期比横這い、収益判断DIが▲6となり前期比11ポイント改善しました。
また、販売価格判断DIは22となり前期比11ポイント上昇、原材料価格判断DIが56となり前期比23ポイント上昇しました。

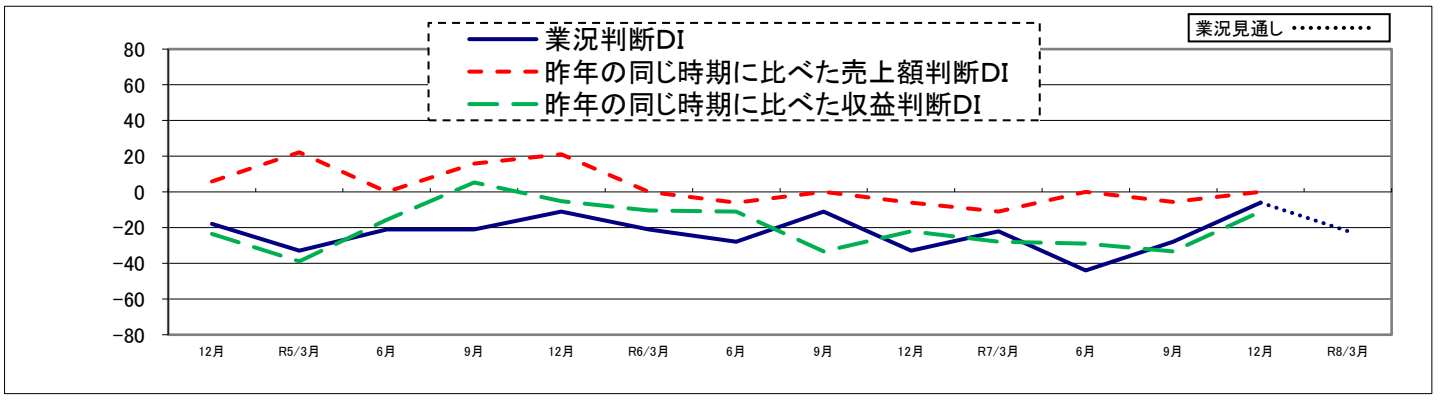
来期の見通し（令和8年1～3月期）

業況判断の見通しDIは▲22となり今期実績比▲16ポイント低下する見通しです。
売上額判断見通しDIは▲17となり今期実績比▲11ポイント低下、収益判断見通しDIが▲6となり今期実績比横這いの予想です。
また、販売価格判断見通しDIは28となり今期実績比6ポイント上昇、原材料価格判断見通しDIが39となり今期実績比▲17ポイント下降する見込みです。

DI値

	R6/10～12月 前年同期	R7/1～3月	R7/4～6月	R7/7～9月 前期実績	R7/10～12月 今期実績	前期比	前年同期比	R8/1～3月 来期見通し	今期比
業　況	▲ 33	▲ 22	▲ 44	▲ 28	▲ 6	22	27	▲ 22	▲ 16
売上額	6	▲ 22	0	▲ 6	▲ 6	0	▲ 12	▲ 17	▲ 11
受注残	▲ 28	▲ 17	▲ 11	▲ 6	▲ 11	▲ 5	17	▲ 22	▲ 11
収　益	▲ 11	▲ 50	0	▲ 17	▲ 6	11	5	▲ 6	0
販売価格	17	22	22	11	22	11	5	28	6
原材料価格	44	50	33	33	56	23	12	39	▲ 17
原材料在庫	▲ 11	11	▲ 6	6	6	0	17	17	11
資金繰り	▲ 33	▲ 11	▲ 33	▲ 11	▲ 11	0	22	▲ 11	0
残業時間	▲ 39	▲ 6	▲ 11	▲ 17	0	17	39	▲ 22	▲ 22
人　手	▲ 22	▲ 17	▲ 39	▲ 28	▲ 61	▲ 33	▲ 39	▲ 39	22
現在設備	▲ 17	▲ 11	▲ 6	▲ 6	▲ 11	▲ 5	6	▲ 11	0

業況判断DI、昨年の同じ時期に比べた売上額判断DI、昨年の同じ時期に比べた収益判断DIの推移



設備投資動向　※複数回答

設備投資実績内訳（7年10～12月）	
事業用土地・建物	0 件
機械設備の新・増設	4 件
機械・設備の更改	4 件
事務機器	1 件
車両	0 件
その他	0 件

設備投資計画内訳（8年1～3月）	
事業用土地・建物	0 件
機械設備の新・増設	2 件
機械・設備の更改	4 件
事務機器	1 件
車両	2 件
その他	0 件

今期（7年10～12月）は5社（27.8%）が設備投資を実施しており、前年同期を2社下回りました。
来期（8年1～3月）に設備投資を計画している企業は6社（33.3%）となっています。

経営上の問題点と当面の重点経営施策（上位3位）　※複数回答

経営上の問題点		
1位	人件費の増加	10社
2位	原材料高・材料価格上昇	9社
3位	売上停滞・減少、人手不足	各6社

当面の重点経営施策		
1位	人材を確保する	9社
2位	経費を節減する	8社
3位	販路を広げる	7社

卸 売 業 （令和7年10～12月期）

調査企業　7社
回答企業　6社
回答率　85.7%

業況は改善、1～3月期は低下を予想

今期の実績（令和7年10～12月期）

業況判断DIは▲17となり前期比26ポイント改善、前年同期比では40ポイント改善となりました。
売上額判断DIは33となり前期比19ポイント改善、収益判断DIが33となり前期比10ポイント低下しました。
また、販売価格判断DIは67となり前期比5ポイント下降、仕入価格判断DIが67となり前期比24ポイント上昇しました。

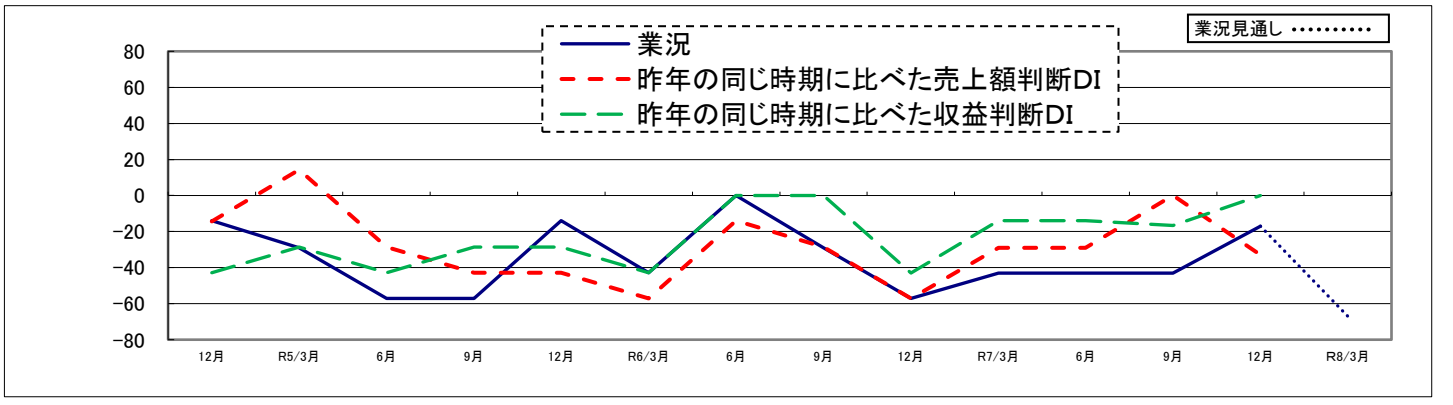
来期の見通し（令和8年1～3月期）

業況判断見通しDIは▲67となり今期実績比50ポイント低下する見通しです。
売上額判断見通しDIは▲67となり今期実績比100ポイント低下、収益判断見通しDIが▲50となり今期実績比83ポイント低下となる予想です。
また、販売価格判断見通しDIは17となり今期実績比50ポイント下降、仕入価格判断見通しDIも17となり今期実績比50ポイント下降する見込みです。

DI値

	R6/10～12月 前年同期	R7/1～3月	R7/4～6月	R7/7～9月 前期実績	R7/10～12月 今期実績	前期比	前年同期比	R8/1～3月 来期見通し	今期比
業　況	▲ 57	▲ 43	▲ 43	▲ 43	▲ 17	26	40	▲ 67	▲ 50
売上額	▲ 29	▲ 57	33	14	33	19	62	▲ 67	▲ 100
収　益	▲ 14	▲ 57	17	43	33	▲ 10	47	▲ 50	▲ 83
販売価格	43	0	17	72	67	▲ 5	24	17	▲ 50
仕入価格	57	29	50	43	67	24	10	17	▲ 50
在　庫	14	0	▲ 17	▲ 14	17	31	3	▲ 17	▲ 34
資金繰り	▲ 14	▲ 14	0	▲ 29	▲ 33	▲ 4	▲ 19	▲ 33	0
残業時間	17	0	▲ 17	33	0	▲ 33	▲ 17	17	17
人　手	▲ 29	▲ 29	▲ 50	▲ 33	▲ 40	▲ 7	▲ 11	▲ 17	23
現在設備	▲ 29	▲ 29	▲ 29	▲ 14	▲ 33	▲ 19	▲ 4	▲ 17	16

業況判断DI、昨年の同じ時期に比べた売上額判断DI、昨年の同じ時期に比べた収益判断DIの推移



設備投資動向　※複数回答

設備投資実績内訳（7年10～12月）	
事業用土地・建物	0 件
機械設備の新・増設	0 件
機械・設備の更改	1 件
事務機器	0 件
車両	1 件
その他	0 件

設備投資計画内訳（8年1～3月）	
事業用土地・建物	0 件
機械設備の新・増設	0 件
機械・設備の更改	0 件
事務機器	1 件
車両	0 件
その他	0 件

今期（7年10～12月）は2社（33.3%）が設備投資を実施しており、前年同期を1社上回りました。
来期（8年1～3月）に設備投資を計画している企業は1社（16.7%）となっています。

経営上の問題点と当面の重点経営施策（上位3位）　※複数回答

経営上の問題点		
1位	売上の停滞・減少	4社
2位	人手不足	2社
2位	人件費以外の経費増加	2社

当面の重点経営施策		
1位	経費を節減する	5社
2位	販路を広げる	3社
3位	人材を確保する	2社

小 売 業 （令和7年10～12月期）

調査企業　26社
回答企業　26社
回答率　100%

業況は小幅に改善、1～3月期は横這いを予想

今期の実績（令和7年10～12月期）

業況判断DIは▲39となり前期比3ポイント改善、前年同期比では13ポイント低下となりました。
売上額判断DIは▲4となり前期比8ポイント改善、収益判断DIが▲4となり前期比12ポイント改善しました。
また、販売価格判断DIは23となり前期比9ポイント下降、仕入価格判断DIが50となり前期比14ポイント下降しました。

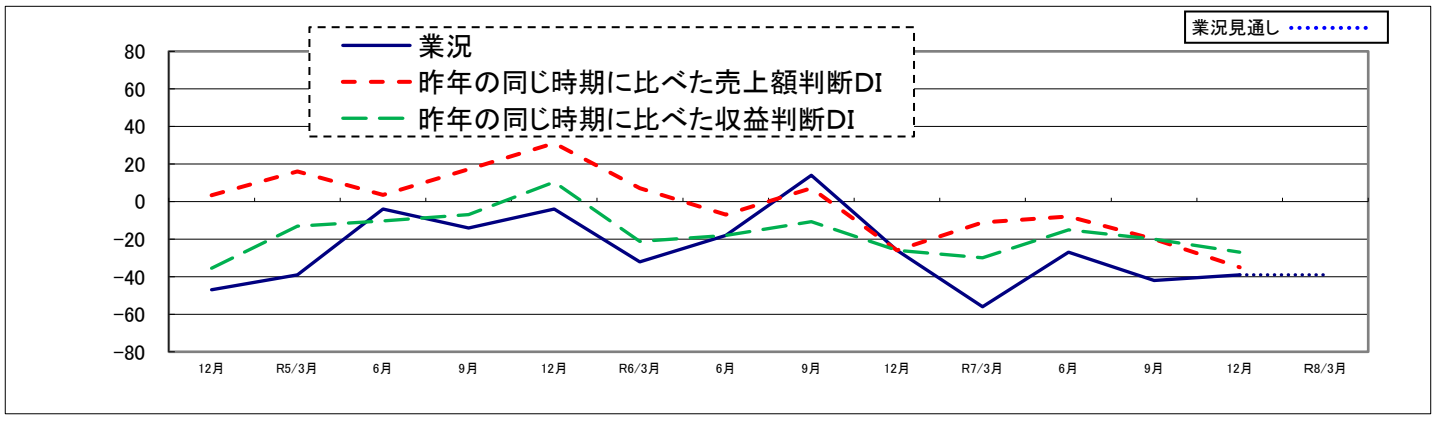
来期の見通し（令和8年1～3月期）

業況判断の見通しDIは▲39となり今期実績比横這いの見通しです。
売上額判断見通しDIは▲23となり今期実績比19ポイント低下、収益判断見通しDIが▲27となり今期実績比23ポイント低下となる予想です。
また、販売価格判断見通しDIは12となり今期実績比11ポイント下降、仕入価格判断見通しDIが39となり今期実績比11ポイント下降する見込みです。

DI値

	R6/10～12月 前年同期	R7/1～3月	R7/4～6月	R7/7～9月 前期実績	R7/10～12月 今期実績	前期比	前年同期比	R8/1～3月 来期見通し	今期比
業　況	▲ 26	▲ 56	▲ 27	▲ 42	▲ 39	3	▲ 13	▲ 39	0
売上額	▲ 22	▲ 30	▲ 8	▲ 12	▲ 4	8	18	▲ 23	▲ 19
収　益	▲ 33	▲ 37	▲ 12	▲ 16	▲ 4	12	29	▲ 27	▲ 23
販売価格	30	48	50	32	23	▲ 9	▲ 7	12	▲ 11
仕入価格	52	67	54	64	50	▲ 14	▲ 2	39	▲ 11
在　庫	4	11	0	0	▲ 8	▲ 8	▲ 12	0	8
資金繰り	▲ 11	▲ 7	▲ 12	▲ 4	▲ 4	0	7	▲ 12	▲ 8
残業時間	4	▲ 4	▲ 4	▲ 8	▲ 15	▲ 7	▲ 19	▲ 12	3
人　手	▲ 30	▲ 33	▲ 35	▲ 40	▲ 23	17	7	▲ 19	4
現在設備	0	▲ 7	▲ 8	▲ 4	▲ 12	▲ 8	▲ 12	▲ 12	0

業況判断DI、昨年の同じ時期に比べた売上額判断DI、昨年の同じ時期に比べた収益判断DIの推移



設備投資動向　※複数回答

設備投資実績内訳（7年10～12月）	
事業用土地・建物	0 件
事務機器	1 件
車両	0 件
その他	4 件

設備投資計画内訳（8年1～3月）	
事業用土地・建物	0 件
事務機器	1 件
車両	1 件
その他	2 件

今期（7年10～12月）は、5社（19.2%）が設備投資を実施しており、前年同期を2社上回りました。
来期（8年1～3月）に設備投資を計画している企業は3社（11.5%）となっています。

経営上の問題点と当面の重点経営施策（上位3位）　※複数回答

経営上の問題点		
1位	売上の停滞・減少	14 社
2位	商圏人口の減少	9 社
3位	人件費の増加	8 社

当面の重点経営施策		
1位	経費を節減する	17 社
2位	人材を確保する	10 社
3位	売れ筋商品を取扱う	6 社

サービス業（令和7年10～12月期）

調査企業　16社
回答企業　16社
回答率　100%

業況は改善、1～3月期は横這いを予想

今期の実績（令和7年10～12月期）

業況判断DIは0となり前期比13ポイント改善、前年同期比19ポイント改善しました。
売上額判断DIは▲6となり前期比31ポイント低下、収益判断DIが▲25となり前期比25ポイント低下しました。
また、料金価格判断DIは25となり前期比6ポイント下降、材料価格判断DIが63となり前期比7ポイント上昇しました。

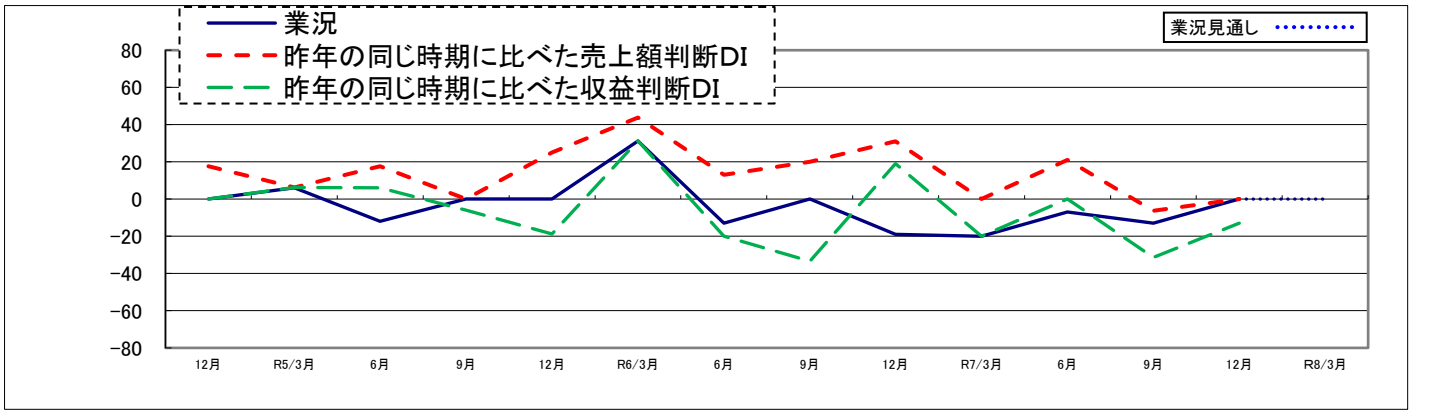
来期の見通し（令和8年1～3月期）

業況判断の見通しDIは0となり今期実績比横這いの見通しです。
売上額判断見通しDIは▲13となり今期実績比7ポイント低下、収益判断見通しDIが▲19となり今期実績比6ポイント上昇となる予想です。
また、料金価格判断見通しDIは0となり今期実績比▲25ポイント下降、材料価格判断見通しDIは38となり今期実績比▲25ポイント下降する見込みです。

DI値

	R6/10～12月 前年同期	R7/1～3月	R7/4～6月	R7/7～9月 前期実績	R7/10～12月 今期実績	前期比	前年同期比	R8/1～3月 来期見通し	今期比
業　況	▲ 19	▲ 20	▲ 7	▲ 13	0	13	19	0	0
売上額	13	▲ 37	▲ 14	25	▲ 6	▲ 31	▲ 19	▲ 13	▲ 7
収　益	▲ 6	▲ 38	▲ 21	0	▲ 25	▲ 25	▲ 19	▲ 19	6
料金価格	19	25	50	31	25	▲ 6	6	0	▲ 25
材料価格	63	69	71	56	63	7	0	38	▲ 25
資金繰り	0	▲ 19	▲ 21	▲ 25	▲ 25	0	▲ 25	▲ 13	12
残業時間	6	0	0	0	0	0	▲ 6	▲ 13	▲ 13
人　手	▲ 75	▲ 50	▲ 50	▲ 73	▲ 63	10	12	▲ 56	7
現在設備	▲ 6	▲ 6	▲ 43	▲ 38	▲ 25	13	▲ 19	▲ 19	6

業況判断DI、昨年の同じ時期に比べた売上額判断DI、昨年の同じ時期に比べた収益判断DIの推移



設備投資動向　※複数回答

設備投資実績内訳（7年10～12月）	
事業用土地・建物	0 件
機械設備の新・増設	5 件
機械・設備の更改	2 件
事務機器	3 件
車両	3 件
その他	0 件

設備投資計画内訳（8年1～3月）	
事業用土地・建物	0 件
機械設備の新・増設	3 件
機械・設備の更改	1 件
事務機器	2 件
車両	1 件
その他	0 件

今期（7年10～12月）は、7社（43.8%）が設備投資を実施しており、前年同期を1社上回りました。
来期（8年1～3月）に設備投資を計画している企業は4社（25.0%）となっています。

経営上の問題点と当面の重点経営施策（上位3位）　※複数回答

経営上の問題点		
1位	原材料高・材料価格の上昇	9社
2位	人手不足	8社
3位	売上の停滞・減少、人件費増加	各4社

当面の重点経営施策		
1位	経費を節減する	9 社
1位	人材を確保する	9 社
3位	販路を広げる	5 社

建 設 業 （令和7年10～12月期）

調査企業　38社
回答企業　37社
回答率　97.4%

業況は改善、1～3月期は低下を予想

今期の実績（令和7年10～12月期）

業況判断DIは14となり前期比11ポイント改善、前年同期比では3ポイント改善しました。
売上額判断DIは24となり前期比5ポイント低下、収益判断DIが22となり前期比9ポイント改善しました。
また、請負価格判断DIは8となり前期比3ポイント下降、材料価格判断DIが38となり前期比17ポイント下降しました。

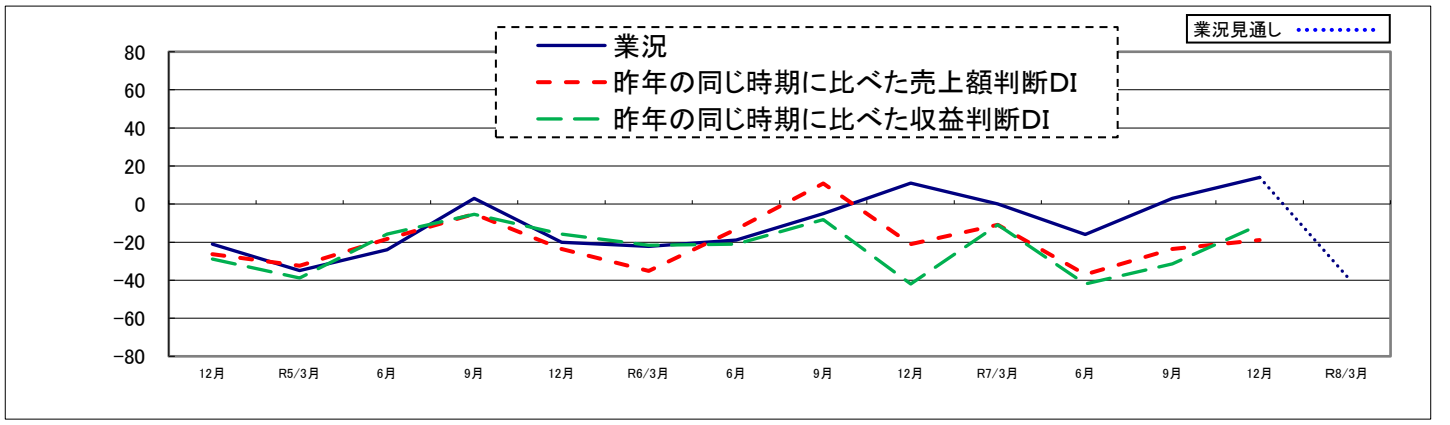
来期の見通し（令和8年1～3月期）

業況判断の見通しDIは▲38となり今期実績比52ポイント低下する見通しです。
売上額判断見通しDIは▲45となり今期実績比69ポイント低下、収益判断見通しDIが▲47となり今期実績比69ポイント低下となる予想です。
また、請負価格判断見通しDIは▲11となり今期実績比19ポイント下降、材料価格判断見通しDIが31となり今期実績比7ポイント下降する見込みです。

DI値

	R6/10～12月 前年同期	R7/1～3月	R7/4～6月	R7/7～9月 前期実績	R7/10～12月 今期実績	R7/10～12月 前期比	R7/10～12月 前年同期比	R8/1～3月 来期見通し	R8/1～3月 今期比
業　況	11	0	▲ 16	3	14	11	3	▲ 38	▲ 52
売上額	16	▲ 14	▲ 5	29	24	▲ 5	8	▲ 45	▲ 69
受注残	▲ 11	▲ 33	11	▲ 5	▲ 20	▲ 15	▲ 9	▲ 46	▲ 26
施工高	18	▲ 26	10	26	16	▲ 10	▲ 2	▲ 47	▲ 63
収　益	13	▲ 8	▲ 19	13	22	9	9	▲ 47	▲ 69
請負価格	18	11	5	11	8	▲ 3	▲ 10	▲ 11	▲ 19
材料価格	39	66	39	55	38	▲ 17	▲ 1	31	▲ 7
在　庫	3	3	0	0	6	6	3	▲ 3	▲ 9
資金繰り	5	3	11	8	0	▲ 8	▲ 5	0	0
残業時間	▲ 8	▲ 37	▲ 17	▲ 14	▲ 8	6	0	▲ 17	▲ 9
人　手	▲ 63	▲ 45	▲ 49	▲ 58	▲ 56	2	7	▲ 50	6
現在設備	▲ 5	▲ 8	0	▲ 11	▲ 5	6	0	0	5

業況判断DI、昨年の同じ時期に比べた売上額判断DI、昨年の同じ時期に比べた収益判断DIの推移



設備投資動向　※複数回答

設備投資実績内訳（7年10～12月）	
事業用土地・建物	0 件
機械設備の新・増設	2 件
機械・設備の更改	6 件
事務機器	4 件
車両	8 件
その他	1 件

設備投資計画内訳（8年1～3月）	
事業用土地・建物	0 件
機械設備の新・増設	1 件
機械・設備の更改	2 件
事務機器	3 件
車両	1 件
その他	0 件

今期（7年10～12月）は、16社（43.2%）が設備投資を実施しており、前年同期を7社上回りました。
来期（8年1～3月）に設備投資を計画している企業は6社（16.2%）となっています。

経営上の問題点と当面の重点経営施策（上位3位）　※複数回答

経営上の問題点		
1位	人手不足	23 社
2位	原材料高・材料価格の上昇	16 社
3位	売上の停滞・減少	13 社

当面の重点経営施策		
1位	人材を確保する	27 社
2位	技術力を高める	19 社
3位	経費を節減する	17 社

運 輸 業 （令和7年10～12月期）

調査企業　9社
回答企業　9社
回答率　100%

業況は改善、1～3月期は低下を予想

今期の実績（令和7年10～12月期）

業況判断DIは11となり前期比33ポイント改善、前年同期比では11ポイント改善しました。
売上額判断DIは44となり前期比22ポイント改善、収益判断DIが22となり前期比11ポイント改善しました。
また、料金価格判断DIは0となり前期比横這い、材料価格判断DIが11となり前期比11ポイント上昇しました。

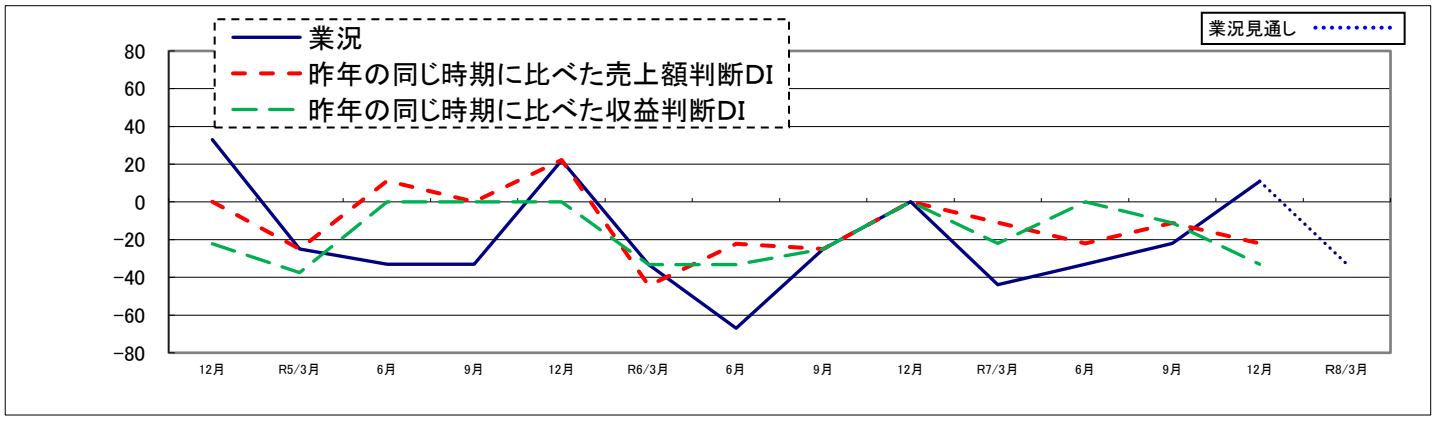
来期の見通し（令和8年1～3月期）

業況判断の見通しDIは▲33となり今期実績比44ポイント低下する見通しです。
売上額判断見通しDIは▲11となり今期実績比55ポイント低下、収益判断見通しDIは▲22となり今期実績比44ポイント低下となる予想です。
また、料金価格判断見通しDIは0となり今期実績比横這い、材料価格判断見通しDIが11となり今期実績比横這いの見込みです。

DI値

	R6/10～12月 前年同期	R7/1～3月	R7/4～6月	R7/7～9月 前期実績	R7/10～12月 今期実績	前期比	前年同期比	R8/1～3月 来期見通し	今期比
業　況	0	▲ 44	▲ 33	▲ 22	11	33	11	▲ 33	▲ 44
売上額	11	▲ 33	▲ 44	22	44	22	33	▲ 11	▲ 55
収　益	11	▲ 33	▲ 44	11	22	11	11	▲ 22	▲ 44
料金価格	22	11	0	0	0	0	▲ 22	0	0
材料価格	44	67	56	0	11	11	▲ 33	11	0
資金繰り	▲ 11	0	▲ 11	0	▲ 33	▲ 33	▲ 22	▲ 22	11
残業時間	▲ 22	11	▲ 22	11	44	33	66	▲ 11	▲ 55
人　手	▲ 78	▲ 33	▲ 33	▲ 44	▲ 67	▲ 23	11	▲ 33	34
現在設備	▲ 33	▲ 22	▲ 22	▲ 11	▲ 33	▲ 22	0	0	33

業況判断DI、昨年の同じ時期に比べた売上額判断DI、昨年の同じ時期に比べた収益判断DIの推移



設備投資動向　※複数回答

設備投資実績内訳（7年10～12月）	
事業用土地・建物	0 件
機械設備の新・増設	0 件
機械・設備の更改	0 件
事務機器	0 件
車両	1 件
その他	1 件

設備投資計画内訳（8年1～3月）	
事業用土地・建物	0 件
機械設備の新・増設	0 件
機械・設備の更改	0 件
事務機器	0 件
車両	1 件
その他	1 件

今期（7年10～12月）は、1社（11.1%）が設備投資を実施しており、前年同期を2社下回りました。
来期（8年1～3月）に設備投資を計画している企業は2社（22.2%）となっています。

経営上の問題点と当面の重点経営施策（上位3位）　※複数回答

経営上の問題点		
1位	人件費の増加	5 社
2位	人件費以外の経費増加	4 社
3位	人手不足	3 社

当面の重点経営施策		
1位	経費を節減する	8 社
2位	人材を確保する	3 社
2位	労働条件を改善する	3 社

不動産業 （令和7年10～12月期）

調査企業	3社
回答企業	3社
回答率	100%

業況は横這い、1～3月期も横這いを予想

今期の実績（令和7年10～12月期）

業況判断DIは67となり前期比横這い、前年同期比は34ポイント改善となりました。
売上額判断DIは0となり前期比横這い、収益判断DIが33となり前期比34ポイント低下となりました。
また、販売価格判断DIは33となり前期比横這い、仕入価格判断DIが67となり前期比横這いとなりました。

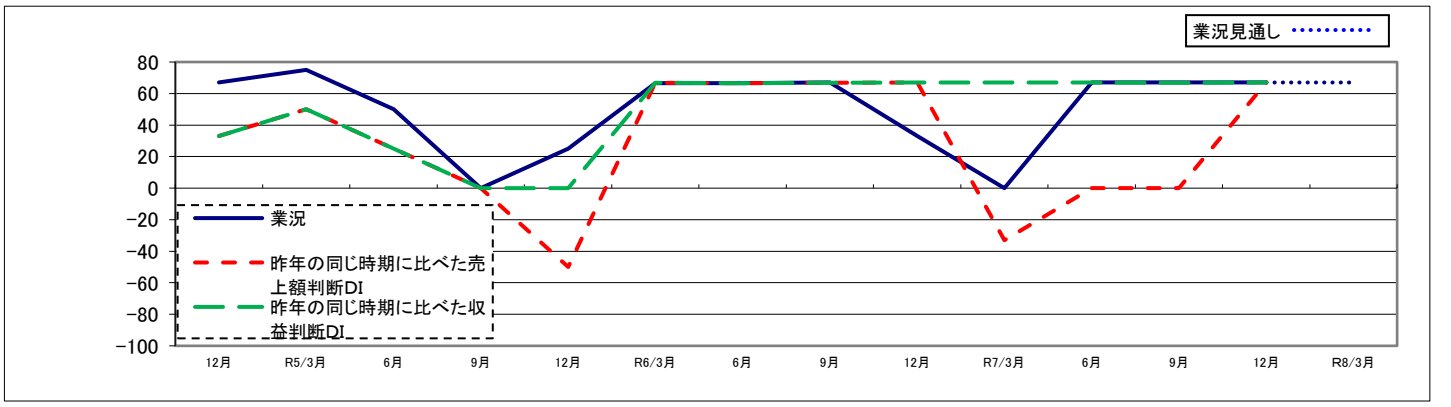
来期の見通し（令和8年1～3月期）

業況判断の見通しDIは67となり今期実績比横這いとなる見通しです。
売上額判断見通しDIは67となり今期実績比67ポイント改善、収益判断見通しDIが67となり今期実績比34ポイント改善となる予想です。
また、販売価格判断見通しDIは33となり今期実績比横這い、仕入価格判断見通しDIが33となり今期実績比34ポイント下降となる見込みです。

DI値

	R6/10～12月 前年同期	R7/1～3月	R7/4～6月	R7/7～9月 前期実績	R7/10～12月 今期実績	前期比	前年同期比	R8/1～3月 来期見通し	今期比
業　況	33	0	67	67	67	0	34	67	0
売上額	67	▲ 33	▲ 67	0	0	0	▲ 67	67	67
収　益	33	33	0	67	33	▲ 34	0	67	34
販売価格	0	0	33	33	33	0	33	33	0
仕入価格	0	33	67	67	67	0	67	33	▲ 34
在　庫	▲ 33	67	0	33	0	▲ 33	33	0	0
資金繰り	0	33	0	0	0	0	0	0	0
残業時間	0	▲ 33	▲ 33	0	0	0	0	0	0
人　手	▲ 67	▲ 33	▲ 33	▲ 33	0	33	67	▲ 33	▲ 33

業況判断DI、昨年の同じ時期に比べた売上額判断DI、昨年の同じ時期に比べた収益判断DIの推移



経営上の問題点と当面の重点経営施策（上位3位）

※複数回答

経営上の問題点		
1位	商品物件の高騰	2 社

当面の重点経営施策		
1位	人材を確保する	2 社

特　別　調　査

2026年（令和8年）の経営見通し

調　査　概　要

この調査は、中空知管内企業に対して「2026年（令和8年）の経営見通し」をテーマに、同業他社及び他業態動向の情報として各企業の経営に役立てていただくことを目的に実施したものです。

■調査時点　令和7年12月
■調査地域　中空知管内（当金庫本支店所在地）
■調査方法　当金庫職員による面接聞き取り法
■調査企業　当金庫のお取引先企業

内訳				
	製造業	18 社	建設業	37 社
	卸売業	6 社	運輸業	9 社
	小売業	26 社	不動産業	3 社
	サービス業	16 社	計	115 社

※ただし各設問において未回答の企業があります。
※各設問の%表示は、小数第二位を四捨五入しております。

調査結果から

■日本の景気見通し「悪い」が57．4%

2026年の日本の景気をどのように見通しているか調査したところ、「悪い」と回答した企業は66社（57.4%）で最多回答となり、「普通」が40社（34.8%）、「良い」が8社（7.0%）となりました。

この結果、「良い－悪い」は▲50.4と、1年前の調査（▲55.9）に比べて5.5ポイントの上昇となりましたが、業種別では、卸売業・運輸業・不動産業で「良い」と回答した企業はありませんでした。

■自社の業況（景気）見通し「悪い」が47．0%

2026年の自社の業況（景気）をどのように見通しているか調査したところ、「悪い」と回答した企業は54社（47.0%）で最多回答となり、「普通」が53社（46.1%）、「良い」が7社（6.1%）となりました。

この結果、「良い－悪い」は▲40.9で1年前の調査（▲40.9）と変わらず、業種別では卸売業で「良い」と回答した企業はありませんでした。

■自社の売上額見通し「減少」が39．1%

2026年の自社の売上額の見通しについて調査したところ、「減少」と回答した企業は45社（39.1%）で最多回答となり、「変わらない」が44社（38.3%）、「増加」が25社（21.7%）となりました。

この結果、「増加－減少」は▲17.4と、1年前の調査（▲17.8）に比べて0.4ポイント上昇し、業種別ではサービス業と運輸業で「増加」が「減少」を上回っています。

■3年後までに自社の業況「上向く」が52．2%

自社の業況が上向く時期の見通しについて調査したところ、3年後までに「上向く」と回答した企業は60社（52.2%）となりましたが、1年前の調査（55.9%）に比べ3.7ポイント低下しました。

一方で「業況改善の見通しは立たない」と回答した企業は43社（37.4%）、これに業況が上向く時期の見通しを「3年超」と回答した企業を加えると48社（41.7%）となり、1年前の調査（33.9%）に比べ7.8ポイント増加しました。

業種別では、3年後までに「上向く」と回答した企業の割合は不動産業（100%）が最も多く、以下卸売業（83.3%）、製造業（66.7%）が続きました。

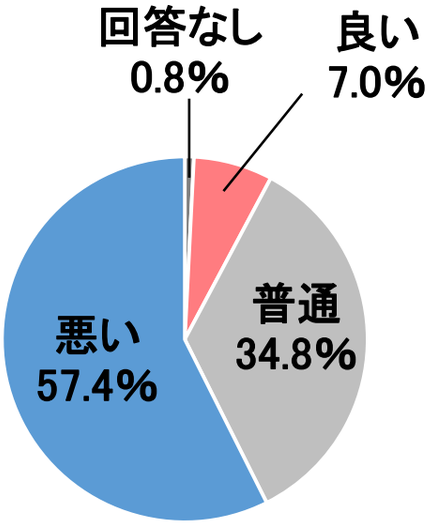
■手形・小切手は「そもそも使っていない」が39．1%

紙の手形・小切手について、「そもそも使っていない」が39．1%で最も多く、以下「紙の手形・小切手を使っている」29．6%、「紙の手形・小切手をやめた」が27.8%となり、約3割が紙の手形・小切手を使っていることがわかりました。

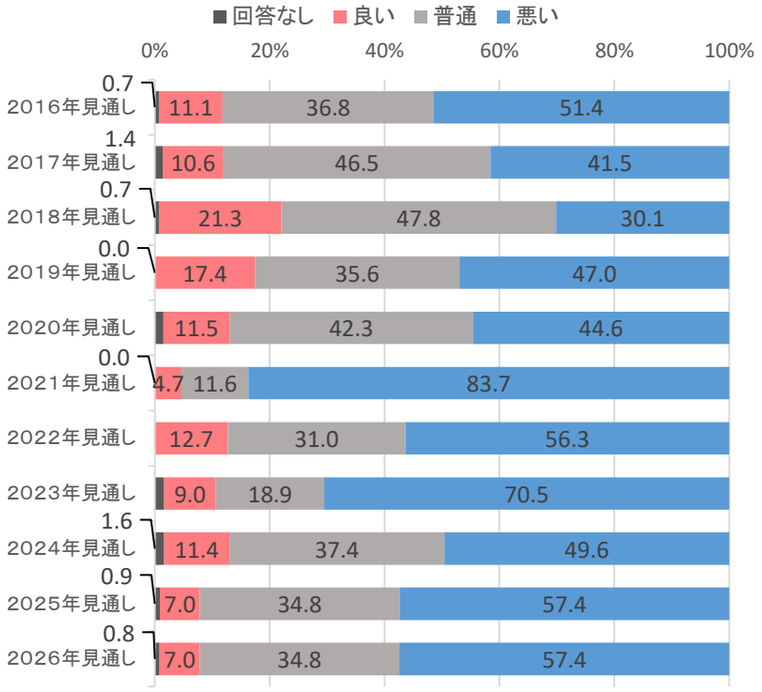
問1．2026年の日本の景気をどのように見通していますか？

日本の景気見通し「悪い」が57．4％

2026年の日本の景気見通し



日本の景気見通し推移



2026年の日本の景気見通し

単位：社

項　目	総合	製造	卸売	小売	サービス	建設	運輸	不動産
非常に良い	0	0	0	0	0	0	0	0
良い	0	0	0	0	0	0	0	0
やや良い	8	1	0	3	1	3	0	0
普通	40	8	2	3	10	11	5	1
やや悪い	53	6	3	16	5	18	3	2
悪い	12	2	1	4	0	5	0	0
非常に悪い	1	0	0	0	0	0	1	0
回答なし	1	1	0	0	0	0	0	0
合計	115	18	6	26	16	37	9	3

2026年の日本の景気をどのように見通しているか調査したところ、「悪い」と回答した企業は66社（57.4％）で最多回答となり、「普通」が40社（34.8％）、「良い」が8社（7.0％）となりました。

この結果、「良い－悪い」は▲50.4と、1年前の調査（▲55.9）に比べて5.5ポイントの上昇となりましたが、業種別では、卸売業・運輸業・不動産業で「良い」と回答した企業はありませんでした。

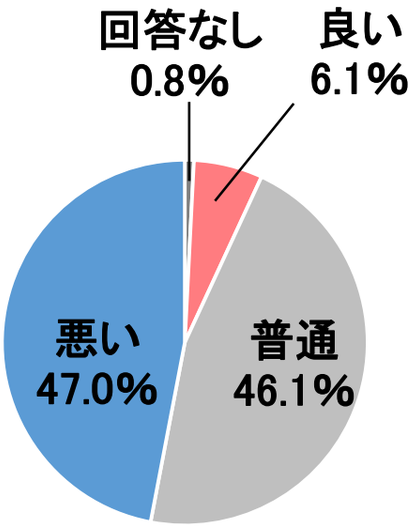
※「良い」・・非常に良い・良い・やや良いの合計

「悪い」・・非常に悪い・悪い・やや悪いの合計

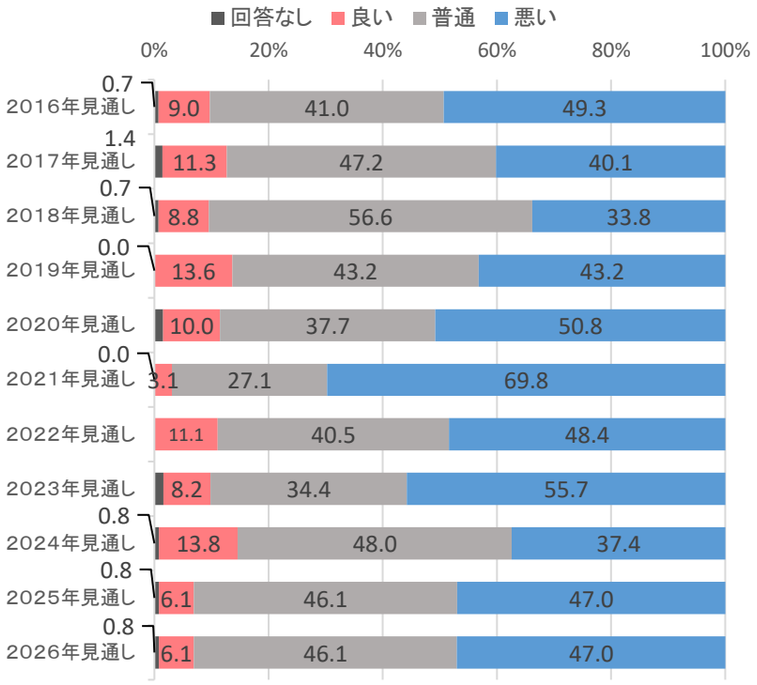
問2. 2026年の自社の業況（景気）をどのように見通していますか？

自社の業況（景気）見通し「悪い」が47.0%

2026年の自社の業況見通し



自社の業況見通し推移



2026年の自社の業況見通し

単位：社

項　目	総合	製造	卸売	小売	サービス	建設	運輸	不動産
非常に良い	2	1	0	0	0	1	0	0
良い	0	0	0	0	0	0	0	0
やや良い	5	0	0	1	1	1	1	1
普通	53	9	1	9	11	16	5	2
やや悪い	39	5	5	11	4	12	2	0
悪い	13	1	0	5	0	7	0	0
非常に悪い	2	1	0	0	0	0	1	0
回答なし	1	1	0	0	0	0	0	0
合計	115	18	6	26	16	37	9	3

2026年の自社の業況（景気）をどのように見通しているか調査したところ、「悪い」と回答した企業は54社（47.0%）で最多回答となり、「普通」が53社（46.1%）、「良い」が7社（6.1%）となりました。

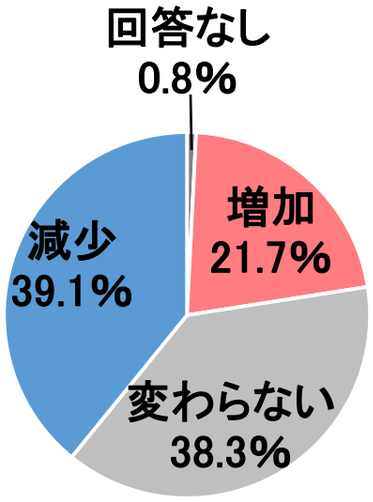
この結果、「良い－悪い」は▲40.9で1年前の調査（▲40.9）と変わらず、業種別では卸売業で「良い」と回答した企業はありませんでした。

※「良い」‥非常に良い・良い・やや良いの合計
「悪い」‥非常に悪い・悪い・やや悪いの合計

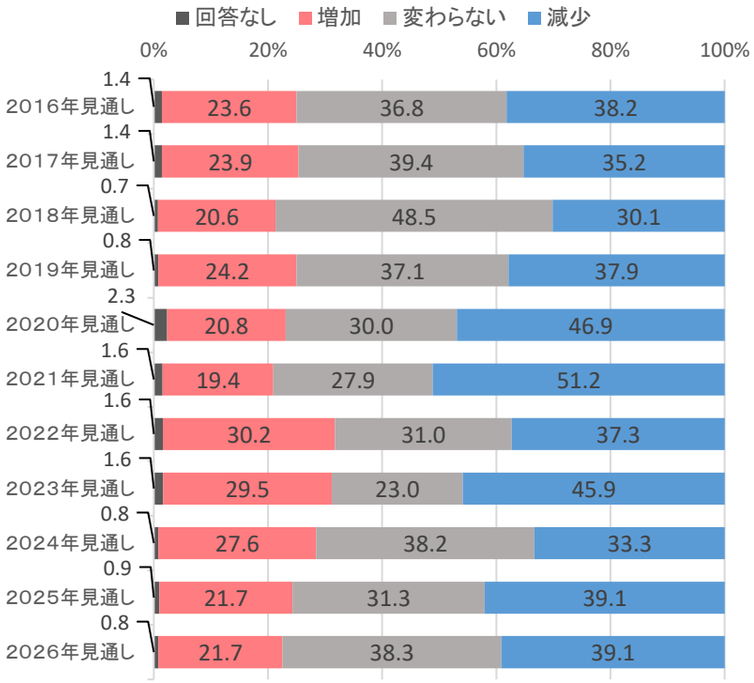
問3. 2026年の自社の売上額の伸び率をどのように見通していますか？

自社の売上額見通し「減少」が39.1%

2026年の自社の売上額見通し



自社の売上額見通し推移



2026年の自社の売上額見通し

単位：社

項　目	総合	製造	卸売	小売	サービス	建設	運輸	不動産
30%以上の増加	2	0	0	0	0	2	0	0
20～29%の増加	1	0	0	0	0	1	0	0
10～19%の増加	10	1	1	1	2	4	1	0
10%未満の増加	12	2	0	1	4	3	2	0
変わらない	44	8	3	8	7	12	4	2
10%未満の減少	30	4	2	12	3	7	1	1
10～19%の減少	12	2	0	4	0	6	0	0
20～29%の減少	1	0	0	0	0	1	0	0
30%以上の減少	2	0	0	0	0	1	1	0
回答なし	1	1	0	0	0	0	0	0
合計	115	18	6	26	16	37	9	3

2026年の自社の売上額の見通しについて調査したところ、「減少」と回答した企業は45社（39.1%）で最多回答となり、「変わらない」が44社（38.3%）、「増加」が25社（21.7%）となりました。

この結果、「増加－減少」は▲17.4と、1年前の調査（▲17.8）に比べて0.4ポイント上昇し、業種別ではサービス業と運輸業で「増加」が「減少」を上回っています。

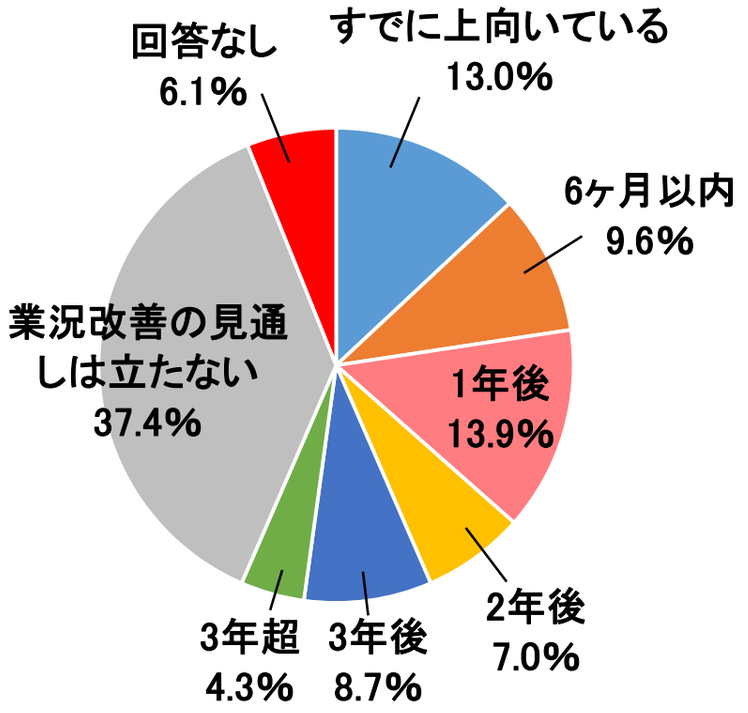
※「増加」‥30%以上の増加、20～29%の増加、10～19%の増加、10%未満の増加の合計

※「減少」‥30%以上の減少、20～29%の減少、10～19%の減少、10%未満の減少の合計

問4. 自社の業況が上向く転換点はいつ頃と見通していますか？

3年後までに自社の業況「上向く」が52.2%

自社の業況が上向く時期の見通し



自社の業況が上向く時期の見通し

単位：社

項　目	総合	製造	卸売	小売	サービス	建設	運輸	不動産
すでに上向いている	15	3	1	1	3	5	1	1
6ヶ月以内	11	2	0	3	2	2	2	0
1年後	16	4	0	4	1	5	1	1
2年後	8	1	1	3	2	1	0	0
3年後	10	2	3	1	1	1	1	1
3年超	5	0	1	1	0	3	0	0
業況改善の見通しは立たない	43	5	0	12	7	16	3	0
回答なし	7	1	0	1	0	4	1	0
合計	115	18	6	26	16	37	9	3

自社の業況が上向く時期の見通しについて調査したところ、3年後までに「上向く」と回答した企業は60社（52.2%）となりましたが、1年前の調査（55.9%）に比べ3.7ポイント低下しました。

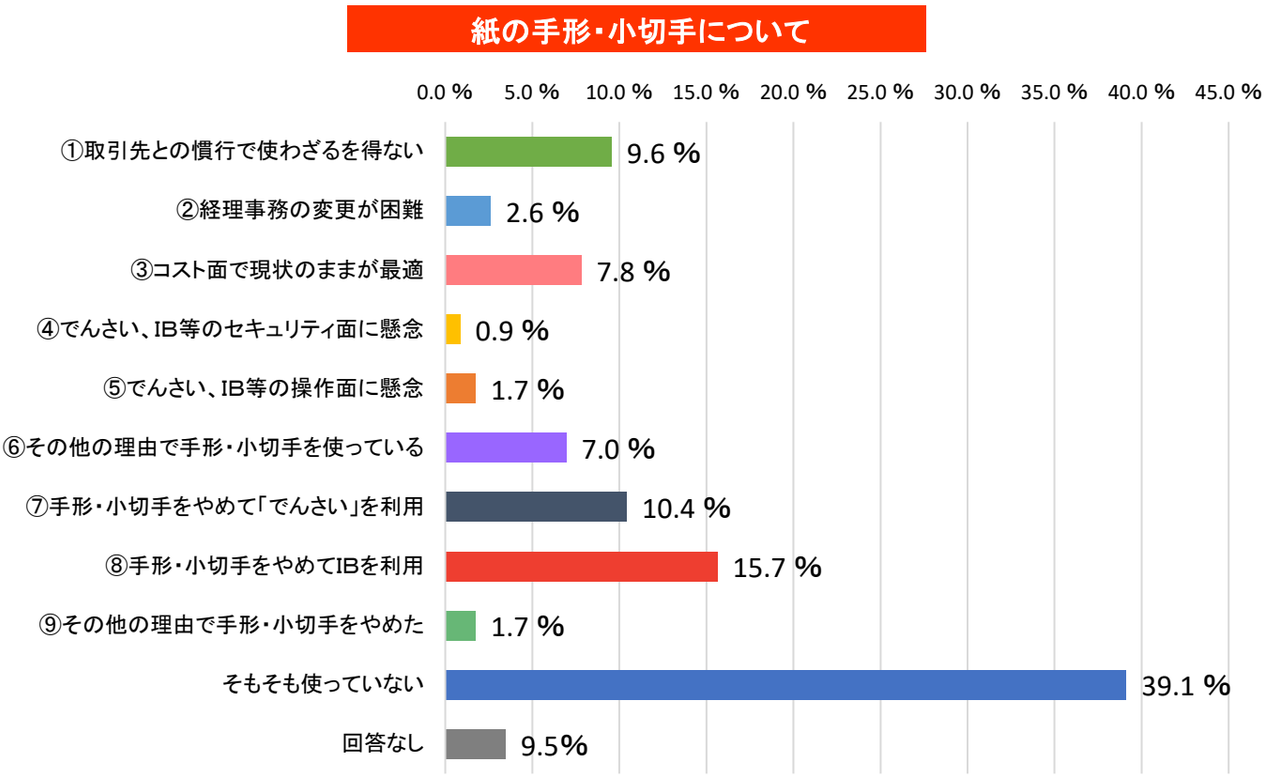
一方で「業況改善の見通しは立たない」と回答した企業は43社（37.4%）、これに業況が上向く時期の見通しを「3年超」と回答した企業を加えると48社（41.7%）となり、1年前の調査（33.9%）に比べ7.8ポイント増加しました。

業種別では、3年後までに「上向く」と回答した企業の割合は不動産業（100%）が最も多く、以下卸売業（83.3%）、製造業（66.7%）が続きました。

※3年後までに「上向く」・・すでに上向いている・6ヶ月以内・1年後・2年後・3年後の合計

問5. 貴社では、現時点で企業間の資金決済手段として、紙の手形・小切手を使っていますか？

手形・小切手は「そもそも使っていない」が39．1％



紙の手形・小切手について

単位：社

項　目	総合	製造	卸売	小売	サービス	建設	運輸	不動産
①取引先との慣行で使わざるを得ない	11	2	2	4	1	2	0	0
②経理事務の変更が困難	3	0	0	1	1	0	1	0
③コスト面で現状のままが最適	9	3	0	2	1	1	2	0
④でんさい、IB等のセキュリティ面に懸念	1	1	0	0	0	0	0	0
⑤でんさい、IB等の操作面に懸念	2	0	0	0	1	1	0	0
⑥その他の理由で手形・小切手を使っている	8	2	0	1	2	3	0	0
⑦手形・小切手をやめて「でんさい」を利用	12	1	1	0	1	8	1	0
⑧手形・小切手をやめてIBを利用	18	3	2	5	2	4	1	1
⑨その他の理由で手形・小切手をやめた	2	0	0	0	0	1	1	0
そもそも使っていない	45	5	1	13	6	15	3	2
回答なし	4	1	0	0	1	2	0	0
合計	115	18	6	26	16	37	9	3

紙の手形・小切手について、「そもそも使っていない」が39．1％で最も多く、以下「紙の手形・小切手を使っている」29．6％、「紙の手形・小切手をやめた」が27.8％となり、約3割が紙の手形・小切手を使っていることがわかりました。

※紙の手形・小切手を使っている・・①～⑥の合計
※紙の手形・小切手をやめた・・⑦～⑨の合計

第 130 回

北門信用金庫　企画部（広報）

北海道滝川市栄町3丁目3番4号
TEL （0125）22－1185 （直通）

https://www.shinkin.co.jp/hokumon/